

にいがた文化遺産活用推進プロジェクト

三味線と語りを楽しむ

瞽女文化の面白さを学び、瞽女唄をたっぶり味わおう。

聴講無料

講演「聴き語り」の芸能

— 瞽女唄の現代的意義をめぐって —

講師 広瀬 浩二郎

(国立民族学博物館准教授)



瞽女唄演奏

演奏

須藤 鈴子

室橋 光枝

(越後瞽女唄 葛の葉会)



1月27日

平成31年 13時30分～15時40分 (受付は13時から)

会場 新潟県立歴史博物館 講堂

定員 150名 (要申込・先着順自由席)

演目

門付け唄 岩室

正月祝い口説

祭文松坂 石童丸 (一段・二段)

発ち唄 伊勢音頭くずし

〈講師プロフィール〉 広瀬 浩二郎 (ひろせ こうじろう)

1967年東京生まれ。13歳の時に失明。筑波大学附属盲学校卒業後、京都大学に進学。2000年同大学院文学研究科にて文学博士号取得。専門は日本宗教史、民俗学、触文化論。2001年より国立民族学博物館に勤務。現在は同館グローバル現象研究部准教授。著書に『障害者の宗教民俗学』（明石書店、1997年）、『ひとが優しい博物館—ユニバーサル・ミュージアムの新展開』（青弓社、2016年）、『目に見えない世界を歩く—「全盲」のフィールドワーク』（平凡社、2017年）など。単に瞽女の歴史を研究するのみでなく、触覚や聴覚の可能性を再確認・再評価する体験プログラムなども各地で開催している。

申込先

新潟県立歴史博物館
経営企画課交流普及担当

申込は「電話」「はがき」「FAX」、または「メール (koryu@nbz.or.jp)」
をお願いします。いずれも希望するイベント名、氏名、電話番号、住所を
お知らせください。



新潟県立歴史博物館
The Niigata Prefectural Museum of History

〒940-2035 長岡市関原町1丁目字権現堂 2247 番 2
TEL 0258-47-6130 FAX 0258-47-6136

後援 新潟県教育委員会、朝日新聞新潟総局、読売新聞新潟支局、毎日新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、長岡新聞社、妻有新聞社、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、N S T、TeNy テレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCT、佐渡テレビジョン、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、FM ながおか 80.7、FM とおかまち、新潟県考古学会、新潟県民俗学会

主催 にいがた文化遺産活用推進プロジェクト実行委員会 新潟県立歴史博物館 瞽女唄ネットワーク 佐渡郷土文化の会